

2025.6.8(日)_森林インストラクター資格試験支援講座（林業体験実習）

報告者 星野

2025年度の森林インストラクター資格試験支援講座林業体験実習参加者は3名（さいたま市、横浜市および鎌倉市在住、神奈川県の名は4時起きとのこと）。初めて森林インストラクターの森を訪れた受講者達は、このフィールドはせせらぎの音、鳥の鳴き声、森林の匂い等、五感で感じるとの評。

実習は横山さんが講師を担当。間伐の意義と作業の安全について、配布資料に基づき説明し、間伐実習を開始した。間伐対象木はヒノキ25年生、胸高直径20cm弱。架かり木を避けるために予めロープを張り、その後に受け口の水平方向と斜めの切込み、および追い口を受講者3名が交代で手鋸を使い伐倒した。伐倒木の重量とその勢いに驚嘆するとともに達成感に浸りつつ、玉切りと皮ハギを実施。受講者3名とも間伐は初体験とのこと、開始から伐倒まで、それぞれの過程をスマホ撮影していたのは時代を感じさせられた。

間伐実習終了後に続き、フィールド内の草本や樹木の葉20種程度を毛利さんの指導で同定する勉強会を実施。ここでもスマホ撮影と同定した葉を1枚ずつ持ち帰る受講者がいて、とにかく今年を受講者は何事にも熱心なのは感心した。そして、受講者全体を通しての感想は、“とても良い体験をさせていただき、受験対策にもなった！”とのこと。

埼玉会の皆様のご協力のお陰で、林業体験実習が無事に終了し、受講者に好印象を与えたことに感謝申し上げます。



間伐対象木を選木中

手鋸で受け口を作成中



この葉っぱの名前は？

